常磐毎日新聞
夕刊
十一月二十七日
定價一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵送料共金壹圓
廣告料普通一行五拾錢　場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼印刷人　坂本忠
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二〇〇番

ガソ車の運轉回數
平驛關係十本減る
鐵道省が燃料を節約

非常時局下の鐵道省では十二月一日から燃料節約の立場上ガソリンカー省營自動車の運轉回數を約一割の減少を斷行する事となつたが常磐線關係の減少區域は左の如くである

△湯本——平　間五回
△平　——小川郷三回
△平　——久の濱二回

平市防護團
昨日講評式

防空法の施行に基く第一回關東北一府十五縣大防空演習は去る十六日から八日間各般にわたつて行はれたが『概して可』の成績の裡に無事終了を遂げたので平市では二十六日午後一時半から平第一校に各防護團、關係者千餘名を招集

青沼團長が檢閲の後に訓示講評と講評を述べ四家副團長、藤田指導官の講評、八巻平署長訓示あつて萬才を三唱閉會したが

それによると大体に於て良好であるが今一層の市民の認識と自覺が望ましく實質共に擧市一致平市の大空を守らんことを切望してゐる、尚青沼防護團長の講評は左の如し

第一の燈火管制の內容である所の燈下秘匿の狀況に就ては概ね良好なる成績を示し訓練の日を重ねる毎に逐次其の成績が向上致しまして海軍航空機の空中よりの視察は本市は燈火に依つては市街地の存在を發見する能はざる程の極めて優良なる管制が行はれ地形よりして漸く判別し得たると四家副團長、藤田指導官の好成績でありまして第二主要訓練目的の一である警戒管下の就業狀況に關しましては漸次就業訓練を積み演習後半に於きましては其の趣旨を理解致し適切なる設備の下に平常通り營業又は作業に從事し生產能率の低下を防ぎましたことは最も困難なる警戒管下に於ける燈火管制は先づ及第致したのであります。

さりながら甲地區域に於ける住宅及商店等の屋內燈に對する管制設備或は工場の隱蔽裝置街路に於ける殘置燈の適否に關しては更に一段の研究工夫を要する餘地あるものと思ふのであります、要するに市民防空の完全を期するが爲めには市民の全部が擧げて自らこれに當るの覺悟を必要とするのであります、即ち人的組織の整備と物的設備資材の充實とが其の要諦でありまするが其の根底に於て市民防空に對する適確なる認識と一朝有事に際し苟くも確固不動の精神なくしては到底所期の目的を達成することを得ないのであります、之れを要するに此の度の演習は幸に極めて良成績を以て終りを告げましたことは諸君と共に洵に御同慶に堪へない所でありまして防護團員諸君の一致協力緊張したる勤務と市民一同が能く國民防空の理解とに依る結果でありまして防護團長として深甚なる感謝の意を表します。

豐間沖合で
アグリ船遭難
漁夫一名行方不明

二十六日豐間村遊磯沖合四百米の地點で茨城縣川尻町川尻銀行經營のアグリ船一隻が航行不能に陷つてゐるのを同町姉妹船第二十七號小貝丸が發見二十七日朝江名町中ノ作港に辛じて曳航したが乘相員十五名中一名が行方不明となつてゐるので同町消防組員が出動捜査につとめてゐる

研鑽を積む筈である

海川孃が
赤十字看護婦合格

今春三月磐女を卒業した內郷村の海川はるよさんは去る二十日福島市で行はれた日本赤十字社の看護婦試驗に應試し見事合格したはるよさんは來る十二月五日東京市澁谷の赤十字病院看護婦養成所に入學三ケ月間に亘り白衣の天使をめざして

古川改修
課長が視察

廿七日正午河合土木課長が來平古川改修工事其他を視察二十八日歸福する

在平茨城縣人
昨夜秋季總會

在平茨城縣人會秋季總會は二十六日午後六時から市內大貞に於て出席者五十餘名參集、關口紺氏が會長以下役員の指名改選を行つて同九時盛會裡に閉會した

△會長金子直祐△副會長篠原留吉△會計中山毅雄△幹事色川光成外數名△顧問關口紺、金成通、石川德壽

相手の歡心を
買つて詐欺を働く
巧妙なお目見得常習

時局詐欺漢として去る八日平署員に逮捕された宮城縣志田郡敷玉村小谷地生れ住所不定詐欺前科一犯菊地忠志(三五)は身柄を平檢事局に移し嚴重追究の結果、女人とか工場主の肉親だとか詐稱して巧みに金錢を詐取し饗應を受けてゐたもので時局

防空演習の所見
平市防護團副團長　四家久米治

今次の防空演習實施に關しては極めて短期間に上司より防護團の設置等を命ぜられたる爲め防護團規約の設定、平市防空防護の計畫並防護團の新編成等何れも急速を要したる爲め無理と思はるゝ要求をなしたるにも不係各位は克く當局の意のある所を諒とせられ市民一致戮誠なる御協力を得ました爲め良好の成績を以て演習を終了致しましたことは誠に喜びに堪へざる所であります。

全般の成績に就ては團長より示された通りでありますが猶將來平市防空の完璧を期し度と云ふ熱意より細部に亘り所見より開陳して參考に供する次第であります。

一、防護團の編成及團結に就て

防護團の編成は短日時の間に然も急速に要求したるにも不係各分團長の公の誠を具現せられたる結果でありまして大に意を强うする所であります

二、各團員活動に就て

防護團の編成は其の組織に於て制限を受けたる大なる努力に依り各職能を十分發揮し得る如く編成を完了し直に活動し得る態勢を整へたる苦心に對しては大に感謝する所であります。而して急速なる編成なるにも不係鞏固なる團結の下に活動し得るに至りたるは之れ一に適材を適處に配置したると各團員が克く現下の時局を認識せられ滅私奉公の誠を具現せられたる結果でありまして大に意を强うする所であります

三、各分團長の指揮命令の徹底に就て

各分團長の指揮命令は概して確實に遂行せられたるものと認めますが、本市は團体統率上最も重要事項でありますから今後共に指揮の適用命令の徹底に關しては一層の研究を希望する次第であります。

四、各機關の聯絡統制に就て

各機關の聯絡統制の緊要なるは各位の夙に悉知せらるゝ處なるも最も機敏且つ果敢なる行動を要求する防空機關に對しては極めて緊要なる事項であります、此點に關しては各分團共大に努力せられたる跡歴然たるものあるを認めますが未だ十分ならざる所ありしは遺憾であります。將來一層の注意を望みます。

祭鉦三ケ月
大井川氏判決

判の秩序を紊す惧れがありまた內容が軍機に關する故を以て再び公開を禁止し非公開のまゝ檢事の求刑禁錮六月よりも輕く禁錮三月を判決、同十一時閉廷

因に大井川氏は該判決によつて市會議員を失格するので直に控訴の手續をとるものと見られてゐる

公安を紊す造言非語をなした廉により陸軍刑法違反に問はれた日本無產黨の平市會議員大井川幸隆(三二)に係る第二回公判は二十七日午前十時から中谷判事係り、中里檢事大藏、眞木、松野尾三辯護人立會の下に開廷、縣下最初の陸軍刑法民間適用なだけに各方面からの注目を惹いて前回同樣公

精神總動員
映畫と講演

國民精神總動員縣委員會では縣下二十數ケ所に映畫と講演會を開いたが更に十二月一日から明年一月末日までに縣下百四十六ケ町村で講演傳達會を開きその趣旨の徹底を期することになつたが本郡本年中の日割を左の如し

▽十三日飯野村　▽十四日鹿島村　▽十五日渡邊村　▽十六日山田村　▽十七日勿來町　▽十八日草野村　▽十九日大野村

魚釣競技
仁井田で

平釣友會の第四回魚釣競技會は二十八日午前六時から午後二時まで大浦村仁井田で開かれるが集合場所は德永、五味淵兩釣宿で一等から十五等まで魚獲の量目により等位を決定賞品を授與するが會費は五十錢である

天氣豫報
今晩は北西の風
晴
明日は北西の風
晴一時曇

童心に映る非常時局 (19)
銃後の覺悟 (2)

平第二高二ノ二　八田富子

むしあついざんがうの中から北支の空にかゝつた青白い月を見上げながら故郷の父母を想ひ亡き友を思つて涙をのんでゐるであらうと思ふと私はタのあの淸い月を思ひ出して又今夜の月に慈愛と慰安とを異國にゐる兵隊さんに與へてくれるやうにと心から願つた。

又日本の兵隊さんが○○砲臺を占領する場面はほんとに心が緊張するをはつきりと感じました隊長さんが長い軍刀を振り上げて、勇しく『すゝめ〳〵』と眞先に敵の陣地を目ざして突進『おいあの砲臺をかん落させるのだ!!』よし東洋平和の爲に!』大きな聲を出しながら我先にと敵地へほん馬の如く猛進する樣は全く全身の血がたぎり立つやうだつた。痛手を負ひながらよろめき〳〵敵彈雨の如く飛びくる中を進む兵隊さん勇壯さ涙ぐましさこれが世界一の日本の兵隊さんだとつく〳〵思ひ出されました。

途に砲臺をせん領して北支の空高く日章旗をかゝげた心境はどんなでせう萬歳を異國の山河にこだまさせた心境はどんなでせう、きつと感激の絶頂に達してゐるだらうなどと知らず〳〵の中に熱い涙がほゝをつたはつてポントと小さな音を立てゝ日章旗の上に圓るい圓をえがいてにじんだ。

水に大へん不自由をしてゐると言ふ事、みんな〳〵ほんとに氣の毒でなりません。きたない河の水、田の水、喜こんでのんでゐるといふ事私は出來たなら家の水道を兵隊さん達にやりたいと思つて居りますがどうする事も出來ません。私は始めて水の尊さを知りました私達の學校では市內各學校で先生方を始め生徒みんなおにぎりに梅干だけで昼の食事を取りました、之は北支那に行つてゐる兵隊さんの不自由を考へる爲に行なつた行事です。先生のお話によればほんとに兵隊さんにはこんなおにぎりもいたゞけないさうです。そして二日も三日も食べずに戰をしてゐるとの事です。

ほんとうに〳〵私達はどんなに感謝したらよいでせう。

私は女です、だから戰地へは行かれません、まだ子供で看護婦にも志願できません。ですけどどうか兵隊さん、小さいけれど私達は皆樣の居ない家を守つて兩親に孝行し兄弟扶け合ひ女子の本分をつくしますから家の事は心配しないでしつかり御國の爲に、九千萬の同胞の爲にどうか働いて下さい。

そして東洋平和の爲に北支の空高くもえる日章旗をひるがへして下さい私は遠い日本よりそれぱかり待つて居ります。

ではお体をお大切に……

故郷に生活を持つ手掌
ニュース映畫に泣く平舘上映

朝日の事變ニュース蘆溝河の敵前渡河戰工兵挺身隊の架橋は昨夜から市內平舘に上映されてゐる、此の映畫こそ我々に戰爭のはげしい息吹きを初めて傳へて與へた感がある、歴史的な渡河作戰の時間的開展を必死に追ふカメラの眼それ自身が死を賭して戰ひとつた貴いルポタージュで每週見て來たニュース映畫ではあるが今度といふ今度はとう〳〵泣かされた、雲ひく〳〵垂れた蘆溝河畔の高い溫度の中で機銃の音が無氣味に叫喚し反響する、壕壕の泥によごれた手で壕の酒を飲み交す勇士達、鐵兜の下に緊張した顏、顏、待機する工兵の逞しい生身にひと條、認識番號票の運命的な紐、吹えつづける機銃發煙筒の火花と白煙交通壕を進擊する歩兵、あゝ裸體の工兵の決死架橋工作だ、あがる飛沫、續いて歩兵の敵前渡橋、對岸の堤防にへばりついて動かない兵士達一身を皇軍に捧げた者の貴い後姿やがて渡河成功に萬歳を叫ぶ半裸の工兵のクローズ、アップ、興奮に歪んだ顏黑く大きな掌、掌、掌、この掌に注いたのである、ひとつ〳〵がその故郷に生活を持つてゐる掌に今二十七日サギ罪で起訴近く平區の公判に附される

好間から醫博

好間村出身埼玉縣川越市野田町赤心堂病院副院長栗城至誠氏は北海道帝大卒業後今春來慶大醫學部に博士論文『日本人頰部皮膚』を提出中の處二十二日教授會を通過した旨二十六日通知あつた

新博士は弊中を經て北海道帝大を卒業後十一年迄慶大解剖學教室で研鑽、本年三十一才の少壯博士である

佑賢生徒千社詣り
市內舊城跡磐城佑賢學舍

全生徒は本二十七日から一週間出征兵の「武運長久」祈願の爲め千社詣りを行ふと

打倒英ソ
養正會大會

立憲養正會第三區聯合會支部では來月十五日平市に〝打倒英ソ護國養正大會〟を開き本部から田中總裁はじめ幹部數名來平するがこれをトップに縣下各地に陰謀英ソ打倒の大會が開催される豫定である

密漁發覺
其筋に檢擧

江名町坂部萬藏(三)は自己所有の龍神丸(二十トン)で畏田村鈴木彦吉(四二)と語らひ去る十七日原町沖合で底引網の密漁を行つたがこの程中村署に探知され同署に檢擧取調べを受けてゐる

辯論會の餘興に琵琶
一口とんかつ

既報過般來準備を進めてゐた平商の秋季辯論大會は來る三十日開催される事となつたが當日は餘興として同校音樂部の演奏や卒業生小野寅次君の琵琶などある筈で盛會を豫想される

大潮展入選
磐中

第二十七回卒相馬高女圖畫揮任教諭金成勇夫氏は文部省後援第二回大潮展覽會に洋畫三點を出品一點は入賞二點は佳作に入つたので母校職員一同我がことのやうに喜んでゐるが

第二校体操
平第二校は來月初旬全學年の体操演習會を催す事となり目下準備を進めてゐる

第三校圖畫展
平第三校は來る二十九日午後一時から五年男女の圖畫コンクールを催すが優秀兒童は各賞狀を授與する外磐三十日は一般父兄に觀覽せしめる筈

思想問題研究
正木磐女、篠山平第一の兩校長は今二十七日福島市に開かれた思想問題研究會出席の爲め出張した

第三校
平第三校は來る二十九日午後一時から五年男女の圖畫コンクールを催すが優秀兒童は各賞狀を授與する外磐三十日は一般父兄に觀覽せしめる筈

農業品評會
渡邊村農產品評會は來月二日から三日間同村小學校で山田村では來月十一日から三日間同村小學校でそれ〳〵開く

平市人事

◎出生

△幕ノ內字高田九活版職工太田貞治氏長女交子さん

◎婚姻

△上平窪君カ澤四番ノ二

白柄組會議 (五)
大島多慶夫作　井川洗涯畫　布施長春書　村瀨春映畫

……三一〇……

二蔦の眼は、お京の小姓姿にあつと驚いた。

『お〻今日はめづらしい、お京は男姿をいたした』

と、加賀爪は興味ふかく感じて云つた。

お京は昨日もふらずに十郎左衛門の嘘へ行つて來つた。

『お京よく來合ふの。』

妄則こうこは、白柄組のもの共も、十郎左衛門を殺して大騒ぎぢつてしまつた。この日に限つて影の形に伴ふやうに付き添つてゐた主水の姿が見えなかつた。

お京には何となくそれが物足りなかつた。

『御嘘樣』

と、お京は十郎左衛門の膝にもたれかゝつて、流れるやうな色氣のある眼で、その顏を見ながら問ふた。

『何ちや』

と十郎左衛門はお京の髮へ手をかけて、撫き纏るやうに引寄せて問ひ返した。

『何故今日は主水樣がいらつしやらないのでござんす』

と、口を歪めながら眼を盜樣に光らせて聞く。

『ほう、お京、そなたやつぱり主水が恋しいのか』

『まあ、御嘘樣には惚らしいことを……』

と、お京は膝をつねつて見せる。十郎左衛門はつゝめて愛嬌もしてゐるが、大體に嫉妬ぶかい性質であつたから、お京を此上もなく可愛がつて居るだけに主水が嫉ましいやうに感じたのであつた。

『はゝゝゝ、そなた、眞くに陰のいふことを正直に受けては可かんあまり主水のことを恋にいたすか』

『とうそ、いつまでも〳〵その御口をお慎れ下さらぬ子に』

『忘れてなるものか、そなたのことを忘れると俺の魂があのよへ行つてしまふ、はゝゝゝ』

『嘘しでござんす』

と、お京は十郎左衛門の膝へ顏をつけた。

男命のみどりの髮、燃ゆる野の化粧、嫌性の香は十郎左衛門の食指を充分に唆つて、お京の手をとるや何處かへ連れて去らうとした。ここへ極子嘘を上るしとやかな足音がして、嘘子の彼方に立つたものがあつた。

『御嘘樣』

と、聞ふから離をかけた。それはお京の伺候ねてゐた彼の藤治まぶであつた。

『あつ、主水樣』

と、まづお京の方から逃亡がつた。

『主水、御迎に參りましてござらうや』

『そりや、お嘘樣の大命の〳〵家來でござんすから』

『それで聞くのか』

『今日に限つて見えませぬから』

と、ぢつと十郎左衛門の顏を見上げた嘘樣、男性を魅了する体大力が、その姿のすべてから發散して、嘘樣と酔ひ心地の十郎左衛門を溶解爛の淵へ陥たらしめたのであつた。

『可愛い奴ちやの。』

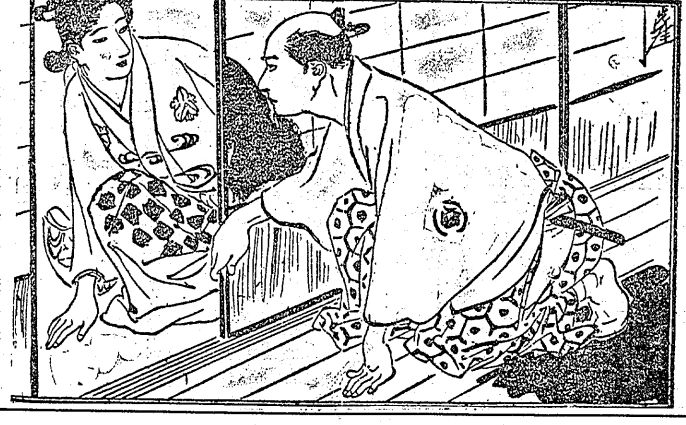
『御嘘樣、このごろ御口が上手になつたの』

『いや、そなたさへ俺の傍に居つて呉れたらば、最う俺は何の望みも要らん、今のまゝの嘘でもよい、今のまゝの嘘でもよい、そなたは俺の寄辺をくつて呉れる呉ちや、のうお京』

パーマネント
◎非常時に備へる
銃後婦人の途
それこそ一回の御手當で六ケ月を保つ
パーマネントを!
△時間の經濟と能率增進……
△非常時にふさはしい御洋髮……
△洗髮も御任意のまゝ……
◎パーマネントは歐洲大戰以來の流行御家庭の滿足も美容の保全から生る
平市驛前
水野化粧院
主水野冬子
電話(五二五番)(六七八番)

マシンの設備
平市驛前
水野化粧院
主水野冬子
電話(五二五番)(六七八番)

外科內臟外科
X光線科
院長安齋徹
—新設—
產婦人科
醫學士黑澤廣
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四七五番



（家庭メモ）

◆鰹節の身をくづさぬコツ　身のくづれやすい魚は、安く煮に限る。鰹節につけると、くづれません。また、魚の一部に衝を塗つて串にさした魚は、身くづれ出をまはしておかないと串をぬくとき身がくづれます

太つた方も御安心なさいませ
新工夫のつけひも
長襦袢に附けると着くづれしない

ふとつた婦人は大抵お腹が大きいもの。これから着物や下着の襟元も多くなつて、くづれるとなかなか直せませんから是非おためしください。それは長襦袢の腰に紐をつけるのです。御所は丁度腰紐のちよつと下のあたり、お尻の上にあたるところの襦袢の腰の裏側につけます。一つ身や四つ身につけひもと同じ方法ですが、ひもはメリンス又は共の繻子などを使用ひます。手巾の着物の場合は身八つ口から下襟のひもをだしてむすぶのですが、これは上襟の方の腰紐に

大變　いゝ工夫があります。これから着物や下着の襟元も多くなつて、くづれるとなかなか直せませんから是非おためしください。それは長襦袢の腰に紐をつけるのです。御所は丁度腰紐のちよつと下のあたり、お尻の上にあたるところの襦袢の腰の裏側につけます。一つ身や四つ身につけひもと同じ方法ですが、ひもはメリンス又は共の繻子などを使用ます。手巾の着物の場合は身八つ口から下襟のひもをだしてむすぶのですが、これは上襟の方の腰紐に

紐が　通るだけのひらをこさへておき、そこを通して後へだした下襟のひもをむすびます。部位によつて襟でむすぶやうにしてもよろしいでせう。かうしておくと、どんなにうごいても長襦袢の襟がみだれる心配がなく、他つて着物がみだれてもなほしやすい上に、お腹に襟のしまりをあたへます。ふとつた婦人ばかりでなく、和服を着用する婦人の方はくづれ防止の一方法としても充分利用してください（メーゾンボーテ松井啓子さんのお話）

國際都市
上海とは
○—世界の人種展覽會場

上海は「國際都市」で世界の人種展覽會の感がある、エスキモーだの黒人種をのぞけば大抵の人種があつまつてゐる、上海は共同租界、フランス租界、支那街の三區域に別れてゐる、日本人が多く住んでゐるのは現に國際が死守してゐる虹口は共同租界の内東北隅の一隅帯の名称、共同租界は各國の租界が合同して一つになつた地區で各國の旗が合同で行政を司どつてゐる其行政費用が工部局だ

◆

フランス租界だけは別に別立してゐる、つぎに支那街は旗内、南市及共同租界の外郭に近年發達した市街の発部をひつくるめたもので、これに共同市制を施行し市長をにぎつてゐる、よく誤解に上海市長の名が出るがあれは租界外の支那街だけの市長である、この發部三區域を合せたのが既に上海だ。全上海の人口は約三百萬その内日本人は約三萬、ロシア人二萬、英、米その他一切をあはしても五、六萬だから上海における外國居留民の總數は十萬そこ〳〵で殘りの二百九十萬は支那人といふわけだ

◆

だから租界といつても實際の住民は大部分支那人である、只支那人であつても租界内に居住すれば租界の法律によつて支配されるといふだけのことである、今から七八十年前までは上海は只一つの田舎にすぎなかつた、それがどうしてかくも發展、繁榮して世界的の大都市になつたのかといふと

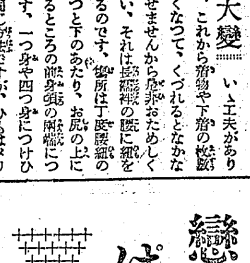
御承知の通り支那はつねに國がみだれてゐた、殊に清朝末期からは何の彼のので一年として戰爭のやむ年はない、辛亥革命の革命がおこつて中華民國となつても國家の治まらぬことは依然として變りがなくむしろ軍閥時代に増して亂脈になり、軍閥が四方に割據して中央政府の命令を聚せず、自分勝手の政治を行つた

かういふ狀態になつてかなり永く續き、軍閥同士の戰爭が絶えなかつた、近年南方の國民政府が強大になつて、北方軍閥を一掃中央政府の命令を聚せず、自分勝手の政治を行つたのは人民で、軍閥は戰爭するたびに肥え太るばかりだ、金持がドシ〳〵戰費をまきあげて、戰爭に勝つても負けても自分の地位だけは減じないといふのが支那の軍閥のやり方である

そこで、地方に住む金持は、これでは安心出來ないから黄金を持つて上海の租界へ逃げて、軍閥の戰禍から安全だ、軍閥も敵味方もこれを如何ともいかない、かうして支那全土からあつまつて來たのだから上海に大した飛躍になつた、從つて商人も多く、勞働者も入る、港湾勞働者も多いといふわけで、上海には世界の歴史にもめづらしい大發展、大繁榮をとげたのだ

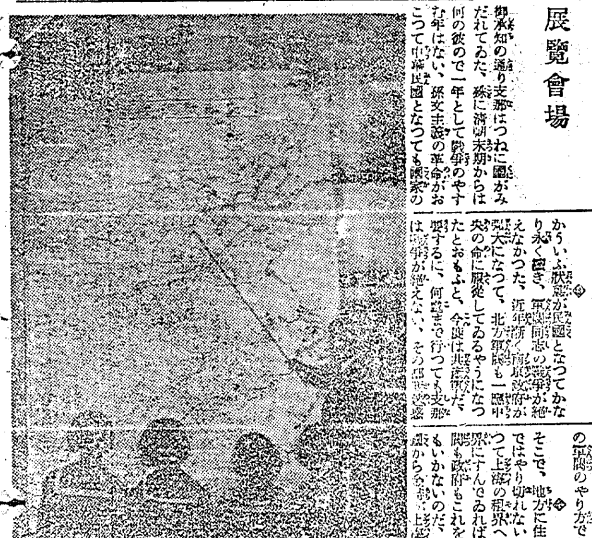
勇　んで從途に上らせたのもあります、それから郷に帰農が生みだしたものとしては、吹込の多い電信工業が面への輸送が多く、そのため通信業興金の問題で郵政事業との間にごたごたがおこり、解決出來ずに人事相談に持出されるのが相當に多くなりました（警視廳人事相談係長西田端大郎氏談）

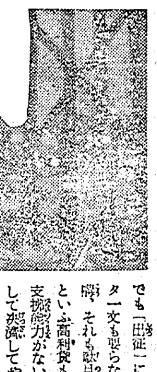
戀愛問題等は……
ぱつたり姿を消す
世は非常時・こゝにも色は濃し
警視廳の人事相談の窓から



▲九月　三、六八五件
◎昨年
▲七月　四、四七七件
▲八月　四、六〇四件
▲九月　四、五九一件

で非常に減少してゐることは注目すべき事で、これは明かに一般の人々が時局柔犬の折柄、人事相談係に持ち出さないで、出來るだけ示談などの形式で穏便に解決するものが多いためと見られてをります、そして從來最も多いのは戀愛問題をはじめ情交、離婚、家出等でしたが、これらはまつたく姿を消し、これにかはるに人事相談も

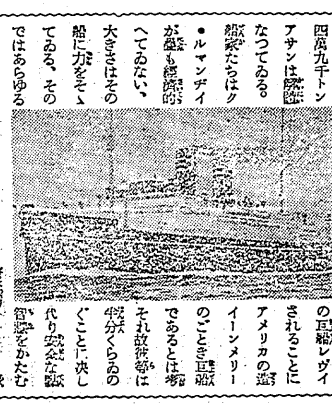




寸話
巨船は時代おくれ

最近隅田川の遊覧船に使はれる電動にきはつてゐる、約三萬五千トンの新しい船がアメリカの太平洋航路用につくられる筈で、これは二番安全な船とされてゐる、二年以上もハドソン河に巨船を四百九十トンアサンは建造されなつてゐる

●ルマンディが最も経済的



へてゐない、大きさはその船に力をそゝ代り安全な船ぐことに決し代り安全な船

非
常時色にぬりつぶされて

警視廳の人事相談係に持込まれる戀愛問題は、多い日には非常に少い日でも世間に持ち込まれますが比較的悲惨な場合が多いだけに係官は戀愛の努力をして解決に解決なきを期してゐます、ところで、それはどんな問題のものが多いかといひますと、第一が金銭貸借、第二が商取引上の問題、次は事業上の問題で、第四が一般上の問題で、第五が家庭問題、第六が婚姻問題、第七が就職問題、第八が相続問題、第九が犯罪問題、第十が其他の問題となつてゐます

相　手も面目に、ゆづるべき所はゆづつて、進んで解決しようとするためどしどし解決して行きます、中でも事業上にともなふ整理問題は互に主張をゆづり合つて問題に解決すると云ふ風です、金銭貸借問題などでも一挙に一切に同情して利息はビター文も要らない、元金だけを繰延べ、それも月賦でも構つといふ風利子もあり、中には親戚支援の力がないと見て救援金をだして解決してやり

煙炭
良否の區別

便利で経済的な燃料は、需要の増すにつれて粗悪のすくない良質のものが出來るやうになりましたが、それでも粗製品がまだ〳〵多くうつかり買つてゐると粗悪までの長い間にはたいへんな不経済になります

すなはち買つた後に燃殻の多いものは、それだけ燃料が少いわけですから、もす燃の燃殻の目方ともした後に殘る灰の目方をはかつて灰の割合をだせば、それによつて真否をハッキリ知ることが出來るわけです。もと〳〵燃殻は無煙炭や木炭の粉に石灰と粘土をまぜてかためたものですから、二割か二割五分程度の灰の殻のはやむを得ぬとして、三割以上のものになると、詐欺とほいへないのです

話
非常線

……船五八……

（十）

「警部補から左様とお答へするより致し方ないのです」

「それからこれは一寸他から聞いたのですが貴方は飛行機部隊の佐官に解かれたさうですが本當ですか」

「事實です。今までは多少任務がありましたので繁苦勞が絶へませんでしたが、これから先きは暫く任務はありませんから、ゆつくり研究やうと思ひます」

「さうですか、然し貴は貴方が本人として御感服するのですが自己の及ばぬ所は止めた方がいゝと思ひます。夫より家庭に在つて戰争の研究の方が確白いでせう」

と人もなげに傍を加へた後

「貴は殿下に御聞ひがありまして殿上致したので御座います」

「何だ、一寸お聞ひとは？」

「はい、殿下、私は決して或る者のやうに、強つに名利に走るものではありませんが此の五尺の身命を邦家へ捧げた決心を以て或る者に御聞ひたいのであります」

「ほゝ、ウム左様か……」

小野次官は暫く黙に微笑を浮べ更に向の振舞をしなかつたが斯くきいて青木は、次官が何んな様子をするかと片眼を呑んで控へてゐると

「それは殿下お聞の本心か？」

「はい、國家の爲めに一生懸命して見たいのであります」

「それは殿下の本心か？」

「はい、殿下の爲めに一生懸命して見たいのであります」

「いや見上げたものだ。實際君が斯心に研究しやうと云ふならば青木の後任に君を推薦してもいゝが、途中で飽きられると困るからなあ」

「はい、殿下の爲めに一生懸命して見たいのであります」

「ウム、左様か……」

「ウム左様か……」

「ホ、ウ。それは感心な事だ。然し何んな者に志を立てたのだ？」

「はい……。實は青木君の感化となりましたに違きまして不肖なる私でありますが殿下の御爲此を力と致して是非飛行機研究に入隊したいのであります」

「ウム左様か……」

小野次官は暫く黙に微笑を浮べ更に向の振舞をしなかつたが斯くきいて青木は、次官が何んな様子をするかと片眼を呑んで控へてゐると

「それは殿下お聞の本心か？」

「はい、殿下の爲めに一生懸命して見たいのであります」

「ウム左様か……」

「ホ、ウ。それは感心な事だ。然し何んな者に志を立てたのだ？」

「はい……。實は青木君の感化となりましたに違きまして不肖なる私でありますが殿下の御爲此を力と致して是非飛行機研究に入隊したいのであります」

「ウム左様か……